

■ マウスピースとバレルの練習

[アンブシュアのチェックとして活用]

- ・マウスピースとバレルで音を出すとF#(Fis)あたりの音が出ます。
- ・ロングトーンをしてみてください、まっすぐでふらふらしない音を目指してください。

※初心者で音が不安定な場合は、鏡でアンブシュアのチェックをしてみてください。

■ ウォームアップ

- ・たっぷり息を吸って使っているかを意識してください。
- ・大きな音、響く音で必ず練習してください。小さくまとめないようにしてください。

[パターン1] 低音域

- ・押さえる指が多くなっても息をしっかり繋げて音色を保ちましょう。



[パターン2] 中音域

- ・指が少なく鳴りづらい音域、またラ～シの難しい運指の動きもあり気をつけたい音域です。
- ・指の形などは教則本等を参照し、正しいフォームを意識してください。



[パターン3] 高音域



- ★楽器の特性に合わせた奏法をそれぞれ発見し、音色の均一性を目指してください。(急に音が大きくなったり小さくなったりないようにしましょう)

■ ロングトーン

- ・この練習も、たっぷり息を吸って使っているかを意識してください。大きな音、響く音で必ず練習してください。小さくまとめないようにしてください。

[メトロノームを使う場合]

- ・テンポに合わせて、何拍かけて息を吸うのか事前に決めて演奏しましょう。
- ・曲でもテンポに合わせてブレスをタイミングを取りましょう。

[メトロノームを使わない場合]

- ・自分の目指している音に近づける狙いを持ちましょう。
- ・そのために「自分の音をよく聴きましょう」

■ スケール

- ・音域によって楽器の特性が出てしまうので、急に音が大きく鳴ったり、細くなったりしないように練習しましょう。
- ・譜例はB♭-Major(B dur)ですが他の調でも練習しましょう。

[練習例：レガート]



[練習例：アーティキュレーション]



[練習例：リズム変更(指のトレーニングにおすすめ)]



■ タンギング

- ・息を止めないで出しっ放しにしましょう。
- ・ロングトーンの時と同じスピードを保ってください。
- ・舌の力は抜いて、かまず演奏してください。
- ・舌は離れているときに音が出ます。リードに舌が着いているのか、離れているのか意識しましょう。



■ レジスターキーの練習

- ・低い音から高い音に上がった時に強くなったり、弱くなったりせず、均一な響きを目指して練習してください。
- ・指は優しく押してあげましょう。

